まえがき——明治の精神は、ざらざらしている　新保祐司　7
序章　悲劇への感受性を喪失した日本人　15
第一章　神なきピューリタニズムに貫かれて　44
——日露戦争と乃木大将
第二章　人間を突き動かす形而上学　71
——水戸学と『夜明け前』
第三章　薄っぺらな感覚の時代　98
——白樺派の大正

第四章　血肉化しない思想の時代
——モダニズムの昭和　122
第五章　戦前を上手に思い出せ
——偉大なる敗北　145
あとがき——歴史の精神と精神史　桶谷秀昭　168
人名・書名索引　202